校長室から ひがしなら通心

（Ｈ２９年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．２５

平成２９年９月１２日（火）発行

お年寄りや先祖を大切にする習慣

９月には国民の祝日といって日本中がお祝いをしたり感謝したりする日が二日あります。「敬老の日」と「秋分の日」です。今年は１８日（月）が「敬老の日」、２３日（土）が「秋分の日」です。学校も休みになるので楽しみにしている人が多いと思いますが、それぞれの日に込められた日本人の思いを知って、心豊かに過ごしてほしいと思います。

「敬老の日」は、お年寄りが長く生きてこられたことをお祝いするとともに、これからも幸せに暮らしてほしいと願う日です。



みなさんのなかには、おじいさんやおばあさんと一緒に住んでいる人もいれば、離れて暮らしていてお正月やお盆にしか会えない人もいるでしょう。また、近所のお年寄りしか知らないという人もいるかもしれません。しかし、どの人もお年寄りと過ごしたり話したりするなかで多くのことを教わった経験があると思います。

お年寄りというのは、ただ歳を多くとっているということではありません。歳を重ねるなかでたくさんの勉強や体験をして、みなさんがこれから学ばなければならないことをたくさん知っている人なのです。ただお年寄りにやさしくしようというだけでなく、お年寄りから多くのことを学んでいこうという気持ちをもつことが、お年寄りを心から大切にすることになるのです。

「秋分」とは季節の変わり目の一つで、秋を分けると書きます。太陽が真東から上がり、真西に沈む日で、昼と夜の長さが同じになります。そして、この日から少しずつ昼間の時間が短くなっていくのです。「秋分の日」のことを「彼岸の中日」ともいいます。先祖を敬い、亡くなった人を偲びながら、今、自分が元気でいることを感謝するという意味があるのです。みなさんの家でもこの時期にお墓参りに行くことがあると思います。今、家族が仲良く元気に過ごせるのは、ご先祖様のおかげだという感謝の気持ちと、これからも頑張るので見守ってくださいという気持ちをもってお墓参りをしたいものです。また、先祖のことを聞いたり調べたりするのも、この日にふさわしい学習になりますね。



なりたい自分になるために・・・

～ゴミ箱と貯金箱（ちょきんばこ）～

２学期が終わるとき、どんな「自分」になっているか、想像してください。その「自分」は、いやな自分ではなく、ステキな自分を想像したはずです。ぜひ、なりたいステキな自分になってください。難しいことではありません。ゴミ箱と貯金箱を使うと、誰でもなりたいステキな自分になれるのです。

たとえば、友だちに優しくするステキな自分になりたければ、友だちにいじわるをしようとしたときに、そのいやな自分をゴミ箱に捨てるのです。そして、そのかわりに優しい言葉をかけてあげましょう。優しい言葉をかけてあげたら、そのことを貯金箱にこっそり貯めておくのです。コツは、こっそりですよ。決して友だちに自慢したり、いばったりしてはいけません。これを毎日繰り返していくと、優しいステキな自分になれます。

たとえば、勉強ができるステキな自分になりたければ、長い時間ゲームをしようとする自分や夜遅くまでテレビを見ようとする自分をゴミ箱へ捨ててしまいましょう。そのかわりに、机に向かっていっしょうけんめい家庭学習をしたことを貯金箱に貯めてください。コツは･･･そう、こっそりですよ。おうちの人に「今日は、勉強したぞー！」などといばってはいけません。そんなことをすると貯金箱に貯めたものがあっという間にどこかへなくなってしまいます。こっそり毎日繰り返して貯金箱に貯めていくと、自分でもびっくりするくらいの勉強ができる自分なれるのです。そして勉強することが大好きになっているはずです。

ゴミ箱と貯金箱は、みなさんの心の中に持っているのです。ゴミ箱に捨てるには、ちょっとの勇気が必要です。でも、いやな自分を捨てることができると、とても気分がよくなるはずです。

みなさんは、どんなステキななりたい自分になりますか？　なりたい自分になるために、どんな自分を捨てますか？　そして、どんな自分を心の貯金箱に貯めますか？

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール１５　宿題はかならず提出しよう

宿題をかならず提出するのは、期限どおりに課題をこなすことを学ぶためだ。

●大人になって仕事をするようになると、しめきりやそれを守るためのプレッシャーがかかってくる。期日までに課題をしあげる練習は、将来、きみたちの役に立つだろう。